

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 排尿自立に至った脳卒中患者に対して急性期から背面開放座位を実施した
症例検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 5A 病棟 職位・氏名 看護師 若槻のぞみ

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 5A 病棟では、排尿自立に至った脳卒中患者に対して急性期から背面開放座位を実施した症例検討を目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、脳卒中を発症し、尿を溜めたり出したりする信号がうまく伝えることができなくなった状態(以下、神経因性下部尿路機能障害)にある患者さんへの看護の充実・有効なケアの提供につながります。

※背面解放座位とは・・・副交感神経が低下し、交感神経が亢進することで大脳に影響し、覚醒度を上昇させます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2019年11月～2020年12月までに東邦大学医療センター大橋病院 5A 病棟において、脳卒中の診断を受け、神経因性下部尿路機能障害が出現した患者さん、およそ 7 症例を対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

疾患名、背面解放座位の実施状況、リハビリの介入状況、神経因性下部尿路機能障害への看護師のケア内容、排尿日誌、対象患者の排尿自立への経過

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院

研究代表者: 若槻のぞみ 役職: 看護師

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 5A 病棟

職位・氏名 看護師 若槻のぞみ

電話 03-3468-1251 内線 3512